市長発言要旨

【発表事項】

① 「アルブ天元台」宿泊施設のリニューアルについて

「アルブ天元台」は、これまで、夏山トレッキングやウィンタースポーツで天元台を訪れる多くの方に利用されてまいりました。

昭和６２年にできて以来、和室の客室が中心でしたので、お客様からは、ベッド利用を望む声や、「長期滞在が可能な設備が欲しい」といった声が寄せられておりました。

これを受け、客室の快適性や機能性を高め、インバウンドを含めた多様な人々が、より快適かつ安心して滞在できる受入態勢を整えることを目的とし、全客室１６室を対象とし、洋室化や、複数の旅行者が１つの部屋を共有して宿泊するドミトリー化などを図る整備工事を進め、まもなく完成する予定となっております。

主なリニューアル内容は、既存和室１６室のうち、１２室について、ベッドやナイトテーブル等を設置して洋室化を図ります。また、２室については、２段ベッド３台を新設し、ドミトリー室へと刷新。残り２室については、和室のまま畳を新しいものに入れ替える改修を行います。

さらに、全客室に Wi-Fi 環境を整備するとともに、施設内の空きスペースの一部を、冷蔵庫や電子レンジなどが自由に利用できる利便性の高い共有オープンスペースへとリニューアルし、滞在時の快適性を高めることとしております。

また、今回のリニューアルに合わせ、料金体系についても見直し、新たに素泊まり料金などを設定することで、宿泊の選択の幅を広げました。これにより、長期滞在されるお客様をはじめ、多様なニーズにお応えし、より多くの方にご利用いただきやすくなるものと考えております。

なお、今回のリニューアルは、運営会社である株式会社天元台が実施しており、令和８年９月１０日から改修工事に着工、１０月１６日の完成を予定しております。１０月２２日１４時から、アルブ天元台において、リニューアル内覧会を実施する予定としております。報道機関の皆様には、あらためてご案内をいたしますので、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

今回のリニューアルは、役員を派遣していただいているタカミヤグループの全面的なアドバイスを受けてのものであります。これを機にサービス向上、利用者拡大に取り組んでまいります。

② 「米沢市座文化伝承館 立礼式茶室新設プロジェクト」ガバメントクラウドファンディング（GCF）実施のお知らせ

「米沢市座の文化伝承館」は、上杉家旧邸宅を受け継ぎ、日本の伝統的な「座の文化」を伝える拠点として、茶道や華道など日本の伝統文化に触れる場として、市民の皆様にご活用いただいておりました。

しかしながら、茶道をはじめとする「座の文化」は、正座を基本とする形式が多く、足腰への負担から参加をためらう方や、若い世代、そして海外からのお客様にとっては、やや敷居が高いと感じられる側面があります。

「座の文化」を、より多くの方に、そして次世代へと継承していくために、立礼式茶室を新設いたします。立礼式茶室とは、椅子とテーブルを使用して抹茶を点て、お楽しみいただく茶道の形式です。こ

れにより、正座が苦手な方、高齢の方、そして海外からのお客様も、気軽に本格的な茶道を体験していただけるようになります。

伝統的な「座の文化」を守りつつ、現代のライフスタイルに合わせた新しい文化体験の場として、その価値を高めてまいります。

この度の改修にあたっては、伝承館の利用者御３名から３千３百万円という多大なる御寄附に、市の一般会計からも一部負担して、総額５千万円の予算で行うものです。

改修工事は１０月から始め、来年３月までの完成、４月からの供用開始を予定しております。

今回、この事業の遂行にあたり、さらに皆様のお力をお借りしたく、ガバメントクラウドファンディングによるご支援をお願いしたいと思います。

募集は令和８年１０月５日より開始しており、令和９年１月２日までの予定で、目標寄付金額は 200 万円であります。皆様の温かいご支援が、この大切な文化を次世代に伝え、米沢市座の文化伝承館が地域文化の拠点として、さらに輝きを増すための大きな力となります。皆様のご協力をお願い申し上げます。

③ 「骨髄バンク登録推進 いのちの輝き展」開催のお知らせ

令和８年１０月１４日から３０日まで、米沢市役所 市民ホールを会場に「骨髄バンク登録推進 いのちの輝き展」を開催いたします。

令和６年度に続き、２度目の開催となります。

今回は、白血病を患い、わずか17歳という若さで逝去された上山市出身の小野寺 守さんが、闘病中に病床で書き綴った苦痛や自らを励まし続けた心のメッセージの展示を実施いたします。

骨髄バンクは、白血病などの血液疾患において「骨髄移植」や「造血幹細胞移植」が必要な患者さんと、ドナーとなる方をつなぐ公的な仕組みです。

移植のためには、血液型のように白血球の型が合わないと移植ができないため、ドナーが見つかる確率は血のつながらない他人の場合、数百～数万分の1となっています。移植を希望するすべての患者さんがチャンスを得るためには、一人でも多くの方のドナー登録が必要です。

骨髄バンクのドナー登録には年齢制限があり、登録は５５歳で抹消されます。現在、登録者の半数以上が４０代から５０代であり、数年後にはドナーの減少が懸念されています。こうした背景から、より多くのドナー登録が求められている状況です。

米沢市では、ドナーの方々の負担軽減を支援するため、「骨髄移植ドナー支援助成金」制度を導入しています。この制度は、休暇制度が整備されていない職場などで勤務する方々を対象に、最大１４万円の助成を行っております。

また、市内の一部献血会場では、骨髄バンク登録説明会もあわせて実施しております。

本展示を通じて、骨髄バンクについての理解をより深めていただき、ドナー登録へのご協力をぜひご検討いただけましたら幸いです。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

④ 米沢食の市場「秋の感謝市」開催のお知らせ

米沢魚市場では、毎週土曜日に「米沢食の市場 土曜朝市」を開催しております。

米沢魚市場や青果市場、そして多くの地元食品事業者様の多大なるご尽力により、毎回大変活気のある賑わいを見せており、昨年２月の開始以降、これまでに７６回の開催を重ねてまいりました。

スタート当初は11者であった出店登録事業者数も、現在では６０者以上にまで拡大いたしました。

こうした中、日頃よりご愛顧いただいている皆様へ 感謝の気持ちを込めまして、特別企画となる「秋の感謝市」が、１０月１７日に米沢魚市場を会場として開催されます。

当日は、大好評いただいている浜焼きの販売をはじめ、小学生以下のお子様を対象とした「魚のつかみ取り」を実施いたします。会場には、新鮮な海の幸をはじめ、旬を迎えた野菜や果物などの農産物、各種加工食品、色鮮やかな花々まで数多く取り揃えられます。

さらに、バラエティに富んだキッチンカーの出店も予定されております。

皆様におかれましては、ぜひご家族やご友人をお誘い合わせの上、旬の味覚を求めて米沢魚市場へ足をお運びください。

⑤ 「たつまちオータムフェスタ」開催のお知らせ

たつまち商店街 振興組合主催の「たつまちオータムフェスタ」が、１０月１８日、立町皇大神社境内において開催されます。

お手元のチラシにございますとおり、山形の秋の風物詩である「いも煮」の販売や、テント市、ドリンクコーナーやフードコートでの食事をお楽しみいただけるほか、特設ステージでは、ロックバンド「天地人」のライブや、ダンスコミュニティ「アルメール」のダンスパフォーマンスをご鑑賞いただけます。

また、現在、たつまち商店街24の加盟店において、スタンプラリーを実施しており、お食事やお買い物をされ、スタンプを３つ集めた方については、【ガソリン・灯油券１万円分】 や 【米沢牛】などの賞品が当たる、 ハズレなしの「スタンプラリー抽選会」にご参加いただけます。

さらに、同日・同会場では、武将の街米沢　eスポーツ振興会の協力により「たつまちカップ２０２６」が開催され、eスポーツで人気を誇る「ストリートファイター６(シックス)」のトーナメント戦に無料で参加が可能です。

このように、見どころ豊富なイベントとなっておりますので、この機会にぜひ「たつまち商店街」をお楽しみください。

⑥ 「米沢逸品展」開催のお知らせ

「よねざわ逸品展」開催のお知らせです。

このイベントを主催する「よねざわ逸品研究会」は、協同組合米沢市商店街連盟、米沢商工会議所、そして米沢市が一体となって取り組んでいる商業活性化事業で、平成２５年９月に発足し、今年で１３年目を迎えます。

研究会では、「一店逸品運動」と称して、各店舗の「おすすめ」「イチ押し」の商品・サービスをさらに磨き上げるための勉強会やPR等に取り組んでおります。

こうした活動を広く市民の皆様に発信し、さらなる商業活性化を図るべく、今年も「米沢逸品展」を開催いたします。

今年の「米沢逸品展」は、１０月２５日に「道の駅米沢」の屋外多目的広場を会場に、市内１４店舗が一堂に会します。

また、先着１５０名様限定で、当日会場にてアンケートにお答えいただくことで、景品が当たる抽選会に参加することができます。

ぜひ会場まで足を運んでいただき、原材料費の高騰をはじめとした厳しい経営環境の中にあっても、明るく前向きに頑張る地元店舗の活動を応援いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。